

Le Pendu de Saint-Phollien



[Le Pendu de Saint-Phollien_ 下载链接1](#)

著者:Georges Simenon

出版者:Pocket

出版时间:2005-8-24

装帧:Poche

isbn:9782266033329

男はメグレの目前でピストル自殺を遂げた。この浮浪者同然の男が、ブリュッセルで3万フランの大金を送るのを目撃して以来、警部は後を尾けていたのだ。遺品はすりきれた黒い鞆一つ。中には、ぼろに等しい古着が一着。

鑑識の結果、上着には10年以上前に付着したと思われる、かすかな血痕があった。そして不可解なことに、自殺した男は生前、大金を各地からパリの自宅に送っては、それをすべて燃やしていたというのだ。

執拗なメグレの捜査の前に、死んだ浮浪者の哀切な過去と、かつてのおぞましい事件が再現されてゆく。

妖異なムードを湛えた、シムノン推理の異色傑作！

作者介绍:

乔治·西姆农，1903年2月13日生于比利时列日，1989年9月4日谢幕于瑞士洛桑。17岁发表他的第一部小说，1929年第一本麦格雷问世。一生创作小说300多部，采用笔名近30个，被译成55种语言，50多部小说被改编为电影，他的读者数以亿计。

目录:

[Le Pendu de Saint-Phollien_下载链接1](#)

标签

本格

推理

异色

评论

读的是江户川乱步大师改写的《幽灵塔》（珠海版），虽然是改写，但基本上保留了原作的故事情节与诡计，只在人物与地点上有所变动。
该作确实符合乱步的口味啊，幽灵塔传说、神秘女主及其所背负的罪、围绕女主的众人各怀鬼胎的阴谋、旧案与新罪交织、不可能的密室消失、无头尸等等的诡异、猎奇的元素一样不少，读来确实很有趣。
但，该作的好看之处，或许就只有有趣这点了，所谓女主所背负的冤，也就那么回事，逆转很常见，密室不可能消失诡计用了密道，更是让人失望，只能说是个挺好的异色悬疑故事，放到推理上，那就一笑了之吧。 详可见吾之书评。

[Le Pendu de Saint-Phollien_下载链接1](#)

书评

[Le Pendu de Saint-Phollien_下载链接1](#)